

高校生議員の皆さんへ

「かながわハイスクール議会２０２４」

- 政策提言に応じて -

令和７年３月

神奈川県

## はじめに

令和6年8月7日、9日、10月19日の日程で「かながわハイスクール議会2024」が開催されました。

今年度は台風の影響により8月16日に予定していた最終日が中止となりましたが、10月19日に延期し、無事、皆さんの議論の成果である「政策提言書」をいただくことができました。

県では、皆さんからいただいた提言を真摯に受け止め、実現できる事業について、一生懸命考えました。

そして、いただいた提言に対して一つひとつお答えするべく、この冊子を作成しました。

皆さんには「かながわハイスクール議会2024」への参加をきっかけとして、今後、より積極的に県政に関わる意識を持ち続けていただければ幸いです。

ご参加いただき、真剣に議論をしてくださった高校生議員の皆さんに、改めて心から感謝申し上げます。



## 目 次

|                    |      |
|--------------------|------|
| かながわの未来特別委員会……………  | P. 1 |
| 防災警察常任委員会……………     | P. 2 |
| 文化スポーツ観光常任委員会…………… | P. 3 |
| 環境農政常任委員会……………     | P. 4 |
| 厚生常任委員会……………       | P. 5 |
| 産業労働常任委員会……………     | P. 6 |
| 建設・企業常任委員会……………    | P. 7 |
| 文教常任委員会……………       | P. 8 |

## 「かながわハイスクール議会 2024」 - 政策提言に応じて -

### かながわの未来特別委員会

「人権について考え、誰もが尊重される社会を作しましょう」（SDGs 目標 5・10）

#### 【提言要旨】

県立高校の文化祭や県内のイベント、ショッピングモールのイベントエリアなどにおけるティッシュやボールペンなどレインボーカラーをテーマとしたグッズの販売・配付や、レインボーグッズのデザイン公募など、ジェンダーに関する正しい知識を広めるための啓発活動を行う。グッズ販売による利益は、LGBTQ+の支援団体へ寄付をする。

令和7年2月2日（日）にクイーンズスクエア横浜クイーンズサークルで実施した啓発イベント「人権メッセージ展」において、県や当事者団体が作成した性的マイノリティの支援に関するチラシやレインボーカラーがデザインされているウェットティッシュ等を配付しました。

また、SNS で、性的マイノリティの正しい理解を啓発するコーナーのPRをしてくれた方に、イベント会場で「ともに生きるかながわ憲章Tシャツ」をプレゼントしたり、ステージイベントのYouTube ライブ配信を実施するなど、広報活動を充実させました。

人権啓発等のためのグッズは、国からの委託で作成し、無償で配付することになっているため、販売することはできませんが、デザイン公募については今後の施策の参考とします。

【関連局】 福祉子どもみらい局

## 防災警察常任委員会

「災害に備え、助け合える仕組みを作ろう」（SDGs目標3・11）

### 【提言要旨】

県のホームページには、災害時に役立つ情報が沢山掲載されているが、世間に十分知れ渡っているとは言えないため、防災に関する広告のアイデアを募集するコンテストを開催し、優勝したデザインを県の広告として使用するなど、防災に関する情報を正しく県民に知ってもらうためのきっかけづくりをする。

災害に関する正しい情報をわかり易く伝え、県民一人ひとりの防災意識を高めることは、災害からの被害を減らす観点から大変重要であり、「防災に関する広告のアイデアを募集するコンテストを開催し、優勝したデザインを県の広告として使用する」ご提案は、大変意義あるものと受け止めています。

県としては、頂戴したご提案の趣旨を踏まえ、新たな地震防災戦略に基づく啓発資料などのデザインのコンテストの実施を検討し、防災に関する情報を正しく県民に知ってもらうためのきっかけづくりとしたいと考えています。

【関連局】 暮らし安全防災局

## 文化スポーツ観光常任委員会

「かながわでeスポーツを普及させましょう」（SDGs目標9・12・17）

### 【提言要旨 ①】

神奈川県でeスポーツのイベントを開催し、プロ・有名実況者の招待や、ゲーム体験ブースの設置などを行う。イベントの様子は生配信やアーカイブ配信を行うほか、企業の製品・ゲームの宣伝、ゲーム製品のリユース、県の特産品を用いたキッチンカーや屋台の出店などを行う。

県では、eスポーツが年齢や障害、また言葉の壁を越えて誰でも参加できることから、令和7年度に、県主催イベントの中で、eスポーツのイベントや体験ブースを出展し、障がいのあるeスポーツプレイヤーと対戦できる機会を設けることなどを検討しています。

イベントの様子は動画配信するとともに、体験ブースに障害のある方も使いやすいコントローラーを設置するなど、協力企業の製品の展示を検討します。

また、イベントの参加者に、県の特産品を景品として提供するなど、県の施策推進に繋がるPRを検討します。

### 【提言要旨 ②】

学校や地元の教育機関と協力して、eスポーツに関する教育プログラムやワークショップを実施する。

現在、県立高校の中には、eスポーツ活動を行っている部活動や同好会があり、文化祭企画発表や全日本高校eスポーツ選手権出場などに取り組んでいます。また、県内の複数の私立学校においても、eスポーツの教育プログラムが実施されています。

その他、eスポーツ関連企業から、学校におけるeスポーツ活動への支援に関する提案があったため、今後、学校での活用希望に応じて、企業を紹介する予定です。さらに、県内の専門学校と連携したeスポーツの取組について、調整を進めています。

【関連局】文化スポーツ観光局・環境農政局

## 環境農政常任委員会

「かながわブランドをさらに広めよう」（SDGs目標11・12・13・14・15）

### 【提言要旨 ①】

神奈川県が生産者が集まり、生産者が直接農産物を販売できるイベントを、各地の県有施設を活用して、月1回程度、定期的を開催する。

月に1度、生産者を集める販売イベントを開催することは、生産者への周知や県民への広報などの事務的な負担が大きく実施は困難ですが、今後も、生産者と販売事業者とのマッチング商談会を年1回開催していくほか、オンラインによる神奈川県産品フェアの開催を検討していきます。

### 【提言要旨 ②】

かながわブランドオリジナルキャラクターのデザインを県内から募集し、作成する。

かながわブランドは、県のほか、JAなどの生産者団体で構成される「かながわブランド振興協議会」で推進していますので、オリジナルキャラクターの作成のご意見については、協議会に情報提供し、検討していきます。

【関連局】環境農政局

## 厚生常任委員会

「子どもを産み、育てたくなる神奈川を実現しよう」（SDGs目標3・5・10・11）

### 【提言要旨 ①】

ベビーファースト運動を活性化させるために、市町村に向けてベビーファースト運動の広報を行う。

国では、こどもを社会のまんなかにも据える「こどもまんなか社会」の実現に向け、「こどもまんなか応援サポーター」制度を立ち上げています。

県でも、子ども子育てに優しい社会づくりを目指して、「かながわこどもまんなかプロジェクト」を推進していますが、「ベビーファースト運動」も、子育て世代が、子どもを“生み育てたくなる”社会を実現するための運動であり、様々な主体が積極的に機運醸成に取り組む大変意義のある取組ですので、「こどもまんなかプロジェクト」の広報と合わせて、市町村に向けて広報していきます。

### 【提言要旨 ②】

県主催のイベント等でベビーファースト運動を取り入れ、高校生を参加させることで、若い世代の子どもへの苦手意識の緩和を図る。

県では、様々な社会課題について、子ども・若者から直接意見を聴く取組を行っており、少子化対策や子育てに関して、高校生と直接意見交換も行っています。その中で、高校生からは、出産や育児に関する不安の声が聞かれましたが、県の考え方や県が現在行っている「こどもまんなか」の取組を紹介しました。

若い世代の子どもへの苦手意識の緩和のため、今後もこうした県主催のイベント等を通じて、子育ての不安を解消し、安心して子育てができる環境づくりを行っていきます。

【関連局】福祉子どもみらい局

## 産業労働常任委員会

「経済のエンジンを回し、活力あふれるかながわにしましょう」（SDGs目標8・9）

### 【提言要旨 ①】

起業経験のある学生の話聞く機会や、高校生同士で情報を共有する場を設けるために、月に一度、高校生を対象とした交流会を開催する。

高校生を対象とした起業への挑戦を後押しする取組として、令和6年度は、学生時代に起業した先輩起業家と学生との交流会を開催するとともに、学生同士がそれぞれのビジネスプランを共有し意見交換するワークショップを実施したほか、学生ビジネスアイデアコンテストを開催し、交流会を学生同士の情報交換の場として活用してもらうなど、様々な事業を実施しました。

令和7年度もこうした取組を継続したいと考えていますが、その中で、現在在学中の起業家との交流会の開催など、高校生に起業をより身近に感じてもらえるような工夫を検討していきます。また、各高等学校や教育委員会の取組、学生の自主的なイベント等と連携することで、可能な限り多くの交流の場を設けることについて検討していきます。

【関連局】産業労働局

## 建設・企業常任委員会

「地域の特性を踏まえた持続可能なまちを作ろう」（SDGs目標11・12・17）

### 【提言要旨 ①】

公園のホームページにイベント申請フォームを開設することや、県のホームページに県立公園のイベントページ一覧を追加すること、イベント実施にあたって貸し出し可能な備品を掲示することなどで、イベント開催を円滑にする。

昨年12月に、都市公園課のホームページのトップに、地域ごとのイベント情報をまとめた一覧ページへのバナーを追加しました。

また、今後、イベントページに、お問い合わせフォームへのリンクを設置してイベント参加申請や実施申請を受け付けたり、貸し出し可能な物品等についても掲載するなど、指定管理者と調整して必要な改善を進めていきます。

### 【提言要旨 ②】

公園のPRポスターのデザインを中高生から募集し、学校や地域で掲示することや、パンフレットのデジタル化や駅への設置などにより、公園の広報を行う。

県立都市公園では、毎年、フォトコンテストを開催し、四季折々の風景や子どもたちが楽しく遊ぶ様子など、公園の魅力が伝わる優れた作品をポスターやカレンダーにしてPRを行っています。

ポスターのデザインを中高生から募集することについては、今後、どのような対応が可能か、検討していきます。

次に、パンフレットのデジタル化については、すでに16の公園でホームページから閲覧できるようになっており、残りの公園についても速やかにホームページに掲載していきます。

また、駅への配架については、現在、京急線と小田急線の一部駅で実施しており、引き続き、鉄道会社の協力を得ながら配架を行っています。

【関連局】 県土整備局

## 文教常任委員会

「変わりゆく社会において、誰もがチカラを発揮するための多様な学びを実現しよう」  
(SDGs目標4・8・9)

### 【提言要旨 ①】

教育委員会などの行政が仲立ちし、企業・大学の得意分野と、学校現場のニーズを繋ぐ。

県教育委員会では、企業・大学などと連携協定を結んで、県立高校生学習活動コンソーシアムを形成しています。その活用に向け、教育委員会が事務局となって、企業・大学が提供可能な学習プログラムと、学校現場のニーズが繋がるよう、意見交換の場などを設けています。

今後もこの取組を継続していきます。

### 【提言要旨 ②】

STEAM 教育の一環で作った商品を地域のお店で販売する。

また、学校のホームページに、授業内での活動の内容を掲載する。掲載ページは生徒自身が作成する。

県立高校の中には、「ローカルSDGs（地域におけるSDGs）」をテーマに、地域の名産を使った商品を考案し、企業の協力を得て実際に販売した学校があります。

また、生徒自身が校内の探究学習の活動内容を取材し、その内容をホームページに掲載している学校もあります。

今後、こうした取組を他の学校にも周知していきます。

**【提言要旨 ③】**

STEAM 教育研究推進校が主体となって、誰でも参観できる STEAM 教育に関する公開授業を実施する。

また、問題解決型学習の活動報告を行う STEAM コンテストを実施する。

県教育委員会では、現在、県立高校 5 校を STEAM 教育研究推進校に指定し、指導方法や学習プログラムなどの研究開発に取り組んでいます。各指定校では公開研究授業や研究成果発表会を実施しています。

また、生徒代表による探究的学習発表会では、STEAM 教育などの探究的な学びを通して考えたことを、根拠に基づいて説明し、質疑応答を通して学びを深める機会としています。今後もこの取組を継続していきます。

**【提言要旨 ④】**

フィードバックのために、生徒への授業アンケートを実施する。

各県立高校では、教員の指導力の向上や授業の改善に役立てるとともに、生徒自らが学習への取組を見つめ直す機会とすることを目的に、「生徒による授業評価」を年 2 回以上行っています。

今後もこの取組を継続していきます。

**【関連局】** 教育局



## 問合せ先

神奈川県教育委員会

教育局総務室 教育ビジョン・広報グループ

〒231-8588 横浜市中区日本大通 1

電話：045-210-8078（直通）